

1	表題(課題)名	交通規制中の規制帯における安全施設等に関する創意工夫
2	工事(業務)名	R5角庵高架橋補修工事
3	受注者名	第一建設工業株式会社 新潟支店
4	工期	令和5年6月22日 ~ 令和5年12月29日
5	担当技術者(立場)名	現場代理人 (おぐら ゆういち) 小倉 雄一
6	担当主任監督(調査)員	新発田維持出張所長
7	課題区分名	⑥安全管理 (_____)
8	工事(業務)概要	国道7号角庵高架橋(上り)の補修工事の施工をした。

9 【施工における 課題・問題点 等】

本工事は、交通量の多い国道7号の本線を日中車線減少規制を行っての施工であった。施工区間に高速道路からの合流路が近接している事より、交通規制延長が長くなった。(規制延長L≒800m)
また、昨今の人手不足により必要最低限の交通誘導員しか確保できない為、より効率的な規制帯各所での注意喚起と安全監視体制を確立する事が課題となった。

10 【実 施 内 容】

交通規制帯の要所にドライブレコーダーを搭載した超高輝度LED警告灯を設置し、通行車両への注意喚起に努めた。また施工区間である角庵高架橋上には、工事の内容や安全運転のメッセージを記載した「吹き流し」を設置し、一般車に対し工事及び工事内容の周知と安全運転の励行を図った。

超高輝度LED警告灯「ピカドラ」の設置



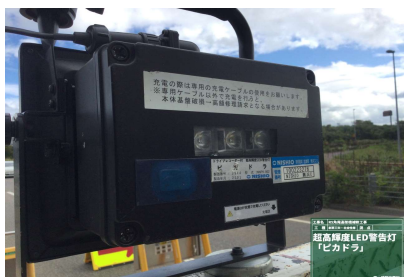
規制始点部



中間点



規制終点部



超高輝度LED警告灯「ピカドラ」(ドライブレコーダー搭載)

(様式—2)

【実施内容等】



ドライブレコーダーによる画像

「吹き流し」の設置



吹き流し1「傷んだ橋を直しています。」



吹き流し2「もちましよう。心のゆとりと車間距離」

11 【実施結果】

超高輝度LED警告灯については視認性がよいことに加え、搭載しているドライブレコーダによりリアルタイムで現場の交通状態の確認ができるので、直接現場へ出向かなくても把握する事が可能になり、生産性の向上につながった。吹き流しについては今まであまり実施例が無く、目新しい事もあり対外的にも非常に好評であった。実施した事例一つ一つは些細なことですが、少しの工夫が日々の安全管理の向上に資すると考え、今後も取り組んでいきたいと思います。